

京都府知事に会ってみたい!

「京都府子ども議会」に参加しました!



▲京都府子ども議会（京都府議会議場）

「京都府子ども議会」って何?

8月19日、京都府議会議場（京都市上京区）に集まった京都府内の5・6年生60人。彼らはおよそ200人の応募の中から作文選考の結果、選ばれた子ども議員たち。事前に2度の研修を経て、それぞれが地域の一員として、そしてこれからの未来を担う世代として、自分たちの思い、疑問、提案を胸にやってきました。

今年の4月、京都府内の各小学校を通じて子ども議員希望者を募集。21世紀を担う子どもたちに、社会への参加意識をはぐくみ、積極的な意見を表明する機会として、また京都府の議会や行政に対する関心や理解を深めることを目的として、京都府・京都府議会・京都府教育委員会・社団法人京都府青少年育成協会が企画した取り組みです。

作文選考を通過した子どもたちは6月21日に京都府庁で1日研修に参加しました。いろいろな学校から参加するため、自己紹介から始まり、議会のしくみや京都府の仕事を学習。

2度目の研修は、7月27日から28日の1泊2日で行った府立るり溪少年自然の家（園部町）での宿泊研修。応募作文をもとに、関心

のあるテーマごとに6つの班を編成。

▼京都らしい観光と文化の振興について

▼みんなが安全に暮らすために

▼豊かな自然と環境を守るために

▼未来へはばたける教育について

▼私たちの身の周りにおける環境問題について

▼私たちが考える元気なまちづくりについて

そして、それぞれ質問したいことや提案内容、発表資料づくりなどを行いました。

次は、いよいよ本番。子ども議会の日です。

南丹市からも子ども議員が議場へ

南丹市内でも子ども議員への応募があり、作文選考を通過した3人の子どもたちが議員として議場へ向かいました。

八木小学校5年の今田稀大くんは「教育」をテーマに、園部小学校6年の福山智子さんは「まちづくり」をテーマに、同6年の藤山真央さんは「環境」をテーマに議場で意見を発表。それに対して、山田知事や田原教育長などが答弁を行われました。